

*Photo Masao Kobayashi*

# 神戸の名木

宮川町のいちよう

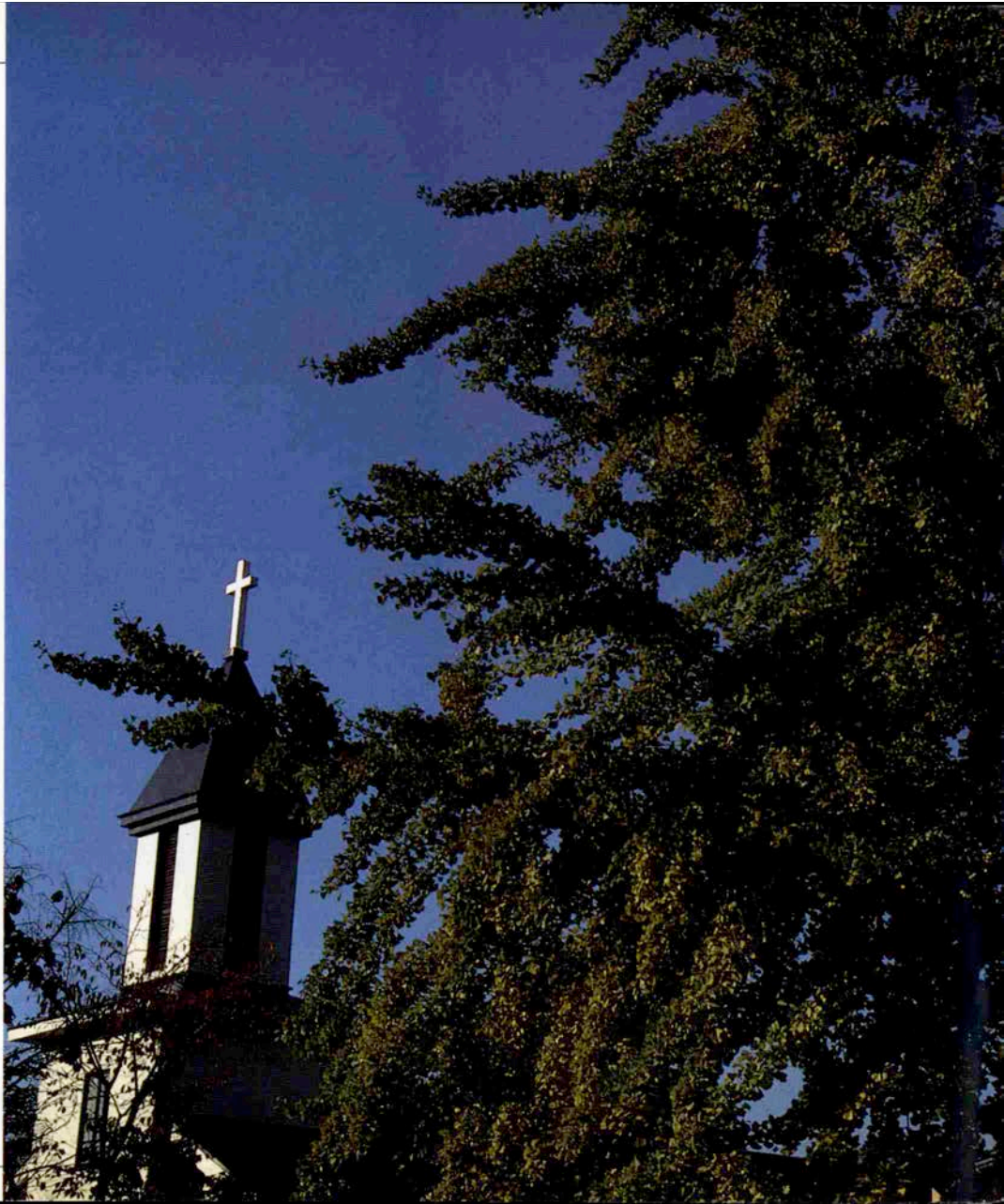
所在地——長田区四丁目第一宮川橋

□市バス長田町五丁目西一〇〇m

第一宮川橋の西、川に接して立っている。

バックに教会のある風景はいかにも神戸らしく、  
「市民の木」として親しまれている。

樹高(m)15・5 幹回り(m)2・7



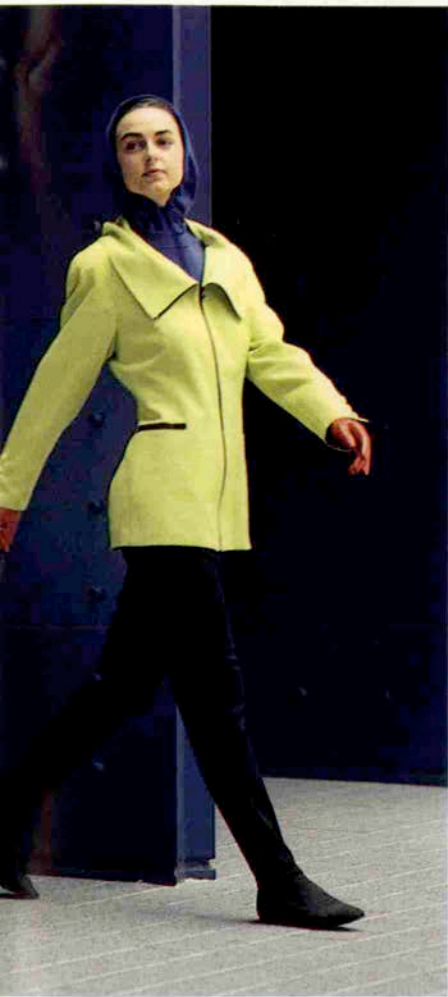
# ソフィステイケートされた カジジュアルな秋。

キーワードは、『元気・軽やか・すばしっこい』。  
この秋は、同系色ではなく、ダークカラーにビビットカラーをプラスして、  
カラーコントラストを楽しんでみませんか。  
ボトムをスリムにまとめて、トップはビッグに。  
都会の中で、スポーティブエレガンスを開放的に表現してみましよう。



気取らず、構えず、ボディにフィットしたパンツは、バランスを  
上手にとって、明るく、伸びやかに、秋の街へ飛び込みたい。

●アウトルミニエ+サドル/パンツ ¥69,000円、パンツ ¥39,000円  
3階 ハイファッションカジュアル



DAIMARU KOBE

電話(078)331-8121<水曜定休>

1-4階・地1階は7時まで営業  
5階-屋上・地2階は6時30分まで営業



フード付きは、今シーズンのトレンドのひとつ。ウオーホル風の  
ポップなカラーも、シンプルでモダンなイメージにまとめて。  
●クロード・モンタナ / ジャケット 95,000円 / カットソー 23,000円  
スパッツ 59,000円 / 3階 マンションホラーノフティック



形も色も楽しい、アクセサリ感覚のバッグ。  
光沢のある素材にも注目したい。

●トロピクス / バッグ (右) 26,000円  
(左) 20,000円 / 1階 ハンドバッグ売場



今や、ファッションの発信地として注目を  
浴びているスペイン。この秋デビューした  
「シビラ」が新しい感性を伝えてくれます。

●シビラ / ジャケット 180,000円  
※インナーパンツは参考商品  
2階 ショーウィンドウナショナル



ヒールのカタチまでこだわった靴を  
コーディネート最後の決め手に。

●フンティヌ / パンプス (下) 16,800円  
(上) 18,800円 / 1階 婦人くつ売場

●表示価格の3%を消費税として別途頂戴いたします。

あなたの、神戸です。



● オランダ・神戸の文化交流が花開く

# 17世紀オランダ絵画の醍醐味をK O B Eで



ルーベンス、ヴァン・ダイクらオランダ17世紀の画家の絵画100点の美術展「昔日の画家たち展」が8/24〜9/2までポートピアホテル「大輪田の間」で催された。

8月23日のオープニングには、日本の代表的コレクター黒江光彦さんが挨拶で「近代画を交えずオランダ17世紀だけに限って蒐集されるのは、世界でもめずらしい。ヨーロッパのそれまでの伝統を排し、貴族階級をモチーフにした肖像画から、市民・農民を描いた自由な作風など新しい潮流を生み出しフランス印象派などに大きな影響を与えた時代のもので、貴重な作品ばかり」と語った。

また、アムステルダム市総務局長J・G・バーニングさんは「神戸市とは姉妹港として関わりは深い、芸術と文化を通してさらに強い結びつきと、380年の両市の歴史を発展させるものになりたい」と語った。主催者ウオーターマンギヤラーのカレル・ウオーターマンさんは「どの絵もとても気に入っていますが、ご希望があればお譲ります」と、ご自慢の絵と一緒に写真に取まってくれた。

連絡先 池田邦子 西宮市甲子園口1-9-14  
079-816510208

KAREL WATERMAN  
Kunsthandel K&W Waterman B.V.  
Rokin 116 Amsterdam HOLLAND  
TEL 020-23129158



タジャクソウ

ときめき

IMAGE OF KOBE

9月

*Photo by  
Yasuyuki Fujiwara*

KOBE  
MASA

さんちか店 (078) 321-4545 サンプラザ店 (078) 331-0950須磨パティオ店 (078) 792-5652 西神ブレンティ店 (078) 992-0086  
宝塚ファミリーストア店 (0797) 73-5359 千里阪急地下街店 (06) 831-0756加古川店 (0794) 25-5514

フ  
ア  
ツ  
シ  
コ  
レ  
ク  
パ  
シ  
ヨ  
ン



R. MIKAMI

いつもより30分早く目を覚まして、ゆっくりとシャワーを浴びる。蛇口から出る水に、昨日とは違う冷気がある。バスローブをはおって窓を開けると、どこまでも青く澄んだ空。肌にはひんやりと心地良い空気。特別な日ではないけれど、なぜか心が満ち足りてくる一日の始まり、秋の朝。こんな朝は、お気に入りの音楽をBGMに、時間をかけた朝食を楽しむ。ていねいに淹れた紅茶。大好きなマフィンにはマーメイドとバターを添えて、ひとりのテールでも手を抜かずに、カップやお皿、ナプキンもきちんと整える。心に豊かな時間は、そんなやさやかなこだわりから生まれると思うから。先週見つけた、あの枯れ葉色のセーター、やっぱり買おうかな。今日はミーティングがあるから、白いシルクの開襟ブラウスにしよう。とりとめのないことを考えながら、ゆっくりと過ぎていく時間。秋は朝に。私の一日がうるおっています。

メリーヒル

ゲルラン

ボンフカヤ

シス

ルーブル・フライドワゴン

ダイアナ

ミッシェル・クラン

クロードレマ

タカノ

ココ山岡

三愛

キャンディッド・マズ

メイソングレー

フォーセツト

ヘネトン

ラッキーズ

ハニーハウス

イーストボーイ

靴下屋

フェアリー

ベジェ

リップスター

ペイトンブレイス

グイフ

バルチザン

ロイス・クレヨン

マリークアント

アラブアグレッツ

トウエンディオン

ミニム・スガム

アム・ウジ

リフノット

アトモスフェール

ウィッキー

アラン・マヌキャン

キャトルセブン

ハワステアローゼ

ウーコル

トリンパ

ラ・パヴル

ミセラン

シエル

FASHION PARK

神戸・三宮さんプラザ、センタープラザ3F

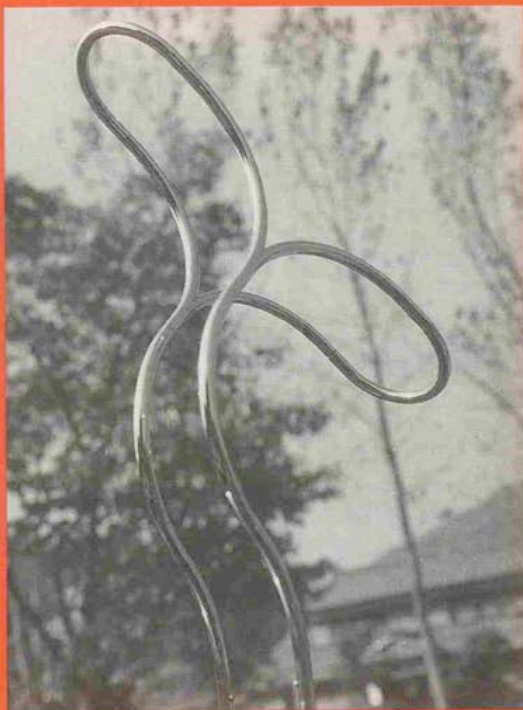
営業時間 11:00-20:00 PHONE 078-332-1898

第3月曜・定休日

これは神戸を愛する人々の雑誌です  
 あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
 神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
 これは神戸っ子の心の手帖です。

## 9月号目次 ● 1990・353

- 表紙/小磯京平  
 セカンドカバー/西村功  
 11 神戸っ子90/水澤筋子・村上 晋  
 14 ある事い/青玄俳句会・恒美会  
 17 コウベスナップ/北野国勝まつり・備松康現元  
 18 美の小箱/文・高橋亨 絵・車孝南  
 20 神戸の名木/カメラ・小林政夫  
 31 私の意見/島田五三郎  
 33 随想三題/菅沼潤・田中美・上田三洋子  
 36 地域文化論/木花睦  
 38 連載エッセイ/三枝和子・絵/元水定正  
 40 私と神戸/山口聖子  
 42 トランプett片手にブラジル人赤き/石近裕夫  
 44 エッセイ/ハロワフスクへの旗  
 46 経済ポケットジャーナル  
 47 経済サロン/松本日出彦 (神戸観光汽船社長)  
 48 <特集>神戸商大60周年記念  
 <座談会>シルクロードを歩く  
 中内功・熊谷哲也・寺本満・有光信也  
 飯田洋輔・前川佳子  
 『神戸商大60年の歩み』  
 56 キャンペーン座談会一新開地ルネサンス  
 出席者 鈴木三郎・高田 晋・川村博美  
 高 国樹・岡田美代  
 62 結婚特集I<ビッグ対談>藤井康隆VS新井基  
 70 結婚特集II結婚アルバム  
 76 ファッションスポット  
 84 神戸のお嬢さん/目黒由香・川飛満夏子  
 94 もうさんのひょうろウオーク/兵庫県立神戸商科大学・高橋孟  
 95 コーヒーブレイク  
 98 動物園飼育日記/ゾウの動物園史(13)・兼井一哉  
 99 話題のひろば/海のプリンセス、石坂春生氏御展  
 さわやか編集長を助ます会  
 99 ファッションウオッチング  
 98 ふたたびアップルフェンサーの研究室/岡田博  
 98 神戸を福祉の海に/橋本明  
 99 有馬虎時記 沖かたしゅー90 インタビュー  
 99 医学講演シリーズ(4)  
 99 百貨会だより  
 99 モダンカルチャー  
 99 シネマ試写室/「ステラ」・沢川喜治  
 99 ぴっぴん  
 99 ポケットジャーナル  
 99 K.P.Rニュース  
 99 なるぼるーしゅ神戸/ボウリング復活へ 文・有井基  
 99 第14回神戸文学賞佳作作品・夏の連巻/伊谷田梅 カット・羽多佳子  
 99 神戸っ子倶楽部会員情報  
 99 ちよつとななすんで一街角の花お。シンジツ(1)ワウクル  
 99 海船漫/葛城丸一代記 文・山田翠苗  
 目次作品・松本薫  
 カメラ/水田定章・池田年美・船橋卓也 森田篤志・山本春雄・早田耕治



Cycle-90。目  
 作・松本薫





—兵庫のまつり—

# ふれあいの祭典'90

平成2年8月～11月、県下各地で開催

文化やスポーツ、健康、福祉などのイベントを楽しみながら、県民の一人ひとりが心を寄せ合い、いきいきとした明日の兵庫をめざす—兵庫のまつり—です。

9月23日(日)

## ふれあいフェスティバル

ふれあいの祭典のメインイベント「ふれあいフェスティバル」を9月23日(日)、神戸市長田区の県立文化体育館を中心に開催します。屋外イベント、ステージでも楽しい催しがいっぱい。ご家族やお友だちと一緒に楽しい休日をお過ごし下さい。

### 屋外イベント

(1)ふれあいパフォーマンス大会  
愉快なアマチュアパフォーマンスコンテスト、楽しいバナナのたき売り、子どもたちが大好きな「それいけノアンパンマンショー」など

### チェリッシュ

- (2)ふれあい自由マーケット  
袋物、エプロン、人形などの手作り品の店、有名駅弁の店など
- (3)ふれあい広場  
多数の賞品が当たる楽しいゲーム大会、クイズ大会など

兵庫のまつり

## ふれあいの祭典'90のイベントから

### 文化イベント

- 兵庫県いけばな展  
10月4日(木)～9日(火)大丸神戸店
- ミュージカルフェスティバル in TAKARAZUKA  
10月5日(金)～7日(日)宝塚パワホールほか
- HYOGO映像祭  
10月7日(日)  
伊丹市立演劇ホール・アイホール
- 大茶会  
10月7日(日)  
兵庫県公館・生田神社会館(神戸市)
- プライダル高砂'90  
10月21日(日)  
フォトコンテスト10月19日(金)～21日(日)  
高砂市文化会館

### 健康イベント

- 全国手工芸コンクール  
10月26日(金)～29日(月)  
兵庫県民会館(神戸市)
- ジャズダンスフェスティバルインかがわ  
10月21日(日)加古川市民会館

### 福祉イベント

- 健康福祉セミナー  
11月16日(金)芦屋ルナ・ホール
- ふれあいポスター展  
11月14日(水)～16日(金)芦屋市民センター

県立文化体育館 山陽電車西代駅下車すぐ  
(神戸市長田区) JR地下鉄新長田駅北へ  
徒歩10分

### 屋内ステージ

(入場整理券が必要)

- 西オーストラリア州バレエ団の公演
- 平家水軍太鼓の演奏
- 障害者音楽グループ「あぶあぶあ」とふれあい合唱団との合同演奏
- チェリッシュの歌
- 香港往復航空券など豪華賞品が当たる「お楽しみプレゼント会」など

「ふれあいフェスティバル」の入場整理券、その他ふれあいの祭典全般に関するお問い合わせは、ふれあいの祭典実行委員会事務局まで  
〒650 神戸市中央区中山手通6丁目1-1  
県生田庁舎 6F  
☎(078) 361-8610

### 健康イベント

- ふれあい健康フェア  
11月2日(金)～4日(日)  
小西酒造株白雪ホール・酒蔵(伊丹市)  
11月4日(日)  
伊丹スポーツセンター体育館
- すこやか食生活フェア  
11月2日(金)～4日(日)  
小西酒造株白雪ホール・酒蔵(伊丹市)

### スポーツイベント

10月21日(日)明石公園  
開会式/健康ランニング/  
ターゲットバードゴルフ/  
テニス/バレーホールなど



きっと神戸が想い出になる。  
ホテルシエレーナの、ウェディング。

1990 1991  
9/8 sat. - 6/30 sun.

お見積り例  
60名様 ¥1,230,000  
メルビュープレゼント該当日にご利用いただけます。  
●メルビュープレゼント  
特別料理メニュー  
ドレスレンタルプレゼント  
ハネムーンケーキポン進呈  
ご婚礼相談室 営業時間AM9:00~PM9:00

# Mer Vue Wedding

メルビュウ・ウェディング・プラン

Specially Selected  
Menu Plan  
for



もうすぐウェディング  
幸せになってください。

結婚式の席上で二本のひもやリボンを実際に結んでみせる習慣は古代デンマークに始まり、他国へ伝わりました。結び目は統一や結合を表すもので、結婚の象徴とされてきました。参列者の前で「The knot was tied.」と言うのは、結婚の成立を宣言する意味があるのだそうです。この秋、ご結婚される皆様のお幸せをお祈りいたします。



**HOTEL CHÉRÈNA**  
6-2-12, Motomachi-dori, Chuo-ku,  
Kobe, Japan  
078-371-3333

MACのギフト  
あなたの気持、  
伝えます。



新しいギフトパッケージが出来ました。

お・め・で・と・う



カジュアルウェア

あ・り・が・と・う



アウトドアウェア

ど・う・ぞ・よ・ろ・し・く



ビジネスウェア



**MAC**  
SINCE 1895 KOBE

HEAD OFFICE 7F NEW CENTER 1-6-22/SANNOMIYA-CHO CHUO-KU KOBE CITY 078-392-1651  
 SANNOMIYA MAC  
 THE BLAZER SHOP MAC  
 DOLCE MAC  
 FESTA MAC  
 BENETTON MAC  
 FUJIIIDAIMARU MAC  
 SUNVIOLA MAC  
 PLENTY MAC

SANNOMIYA CENTER-GAI 1 078-391-0895  
 TOR-ROAD 078-391-0896  
 SANNOMIYA CENTER-GAI 2 078-332-0141  
 HIMEJI FESTA 2F 0792-89-4738  
 HIMEJI FESTA 3F 0792-22-1333  
 KYOTO FUJIIIDAIMARU 2F 075-211-0857  
 TAKARAZUKA SUNVIOLA 3F 0797-71-4830  
 SEISIN PLENTY 2F 078-992-0088

□私の意見

新たな

国際情報都市を

めざして

島田五三郎

△神戸市会議長△



神戸市では、やさしさとぬくもりを実感できる市政を展開し、すべての市民が安心して暮らせる、心のかよった住みよいまちづくりの実現を目標としています。このためには21世紀にむけていきいきとした活力あるまちづくりを進めていく必要があります。

具体的には、ポートアイランド、六甲アイランドに続く海上都市としてポートアイランド(第2期)の埋立てが進められています。そして、今後予想される「空の時代」に対応するため、国の第6次空港整備5箇年計画組入れを目指している神戸空港の建設が企画されており、関西国際空港との海上アクセスも計画されています。さらに、明石海峡大橋が平成9年度に完成し、山陽自動車道、大阪湾岸道路の完成も予定され、陸・海・空の総合交通ネットワークの整備が計画されています。

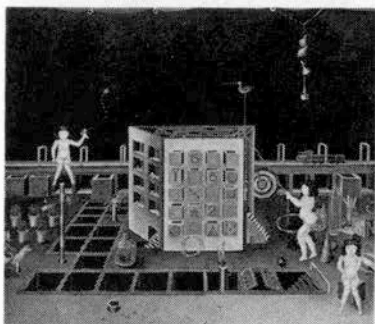
高度産業都市づくりを目指して内陸部では神戸ハイテクパーク、神戸複合産業団地、神戸リサーチパークの整備が進み、市立理工系大学も計画されています。そして、高度情報ネットワークの拠点となる神戸ハーバーランドの整備も進められています。さらに、第2国際展示場、神戸ファッションマート、ファッションセンターの建設によってファッション・コンベンション都市づくりを推進します。

また、農漁業でも、フルーツパーク、マリンピア神戸の整備、神戸ブランドの創出によって、神戸らしい都市型産業として振興を図ります。

こうした新しい都市づくりの一方で、古い市街地域では、インナーシティ現象が顕著になってきていますが、「ア街」人「水」いきいき下町の再生を目指し、「海岸線」をはじめとする19のリーディングプロジェクトを核に地域の活性化を図る計画です。

こうした各種の主要プロジェクトの完成によって、21世紀の国際港都・神戸は、人、物、情報が集積する拠点となり、新たな国際情報都市へと飛躍していくことでしょう。

KAKINUMA GALLERY



「おもちゃの国の世界」 津田 仁子・作  
(油絵) 二紀会会員  
阪神児童画研究会委員

高層マンションに移った時に、高い所から見える現代的風景を思うままに描きました。お人形には感情移入をせず、メルヘンでもなく無機質的に、そしてそれを取りまく世界を描きます。

(柿沼産婦人科に展示 9/1~9/30)

芦屋 柿沼産婦人科

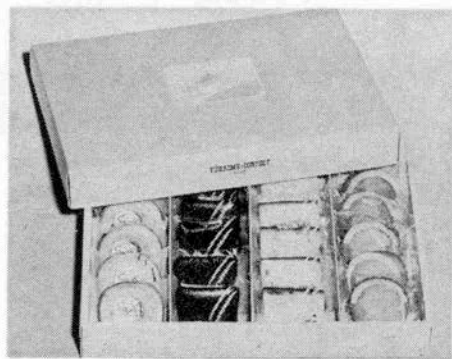
★健保適用 産婦人科・内科(女性専科)



阪神芦屋駅北へ1分・芦屋警察署東隣り  
☎ (0797) 31-1234 (FAX兼用)

当GALLERYに掲載ご希望の方は月刊神戸っ子まで御連絡下さい。

Quartet



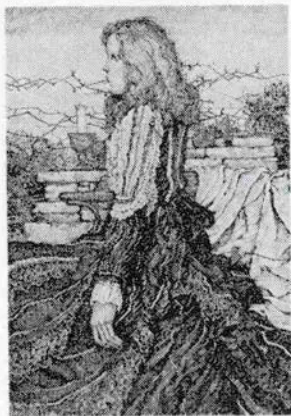
爽やかな初秋に“カルテット”を

- マドレーヌ・スモールバウムクーヘン
- トランシュ (オレンジ・チョコレート)

— 北 欧 の 銘 菓 —

**2-ハイム・コンフェクト**

# 随想 三題



黒い衣と黄色い花・石阪春生

## 宝塚歌劇を 振り返って

菅沼 潤

〔元宝塚歌劇団〕  
演出家

第14回井植文化賞  
〔文化芸術部門〕受賞者



メリケン波止場から船に乗って1カ月かかってパリへ着いたというその昔、レビューは全盛であった。そして直行便13時間で行ける今、本場で衰退してしまったレビューは宝塚が世界の名物になり代っている。理由の大半は女性だけで成り立っている事だが、演目にショーとドラマを併存させているそのプログラミングにも人気の秘訣がある。ドラマでスターを育て、ショーで客を呼ぶ。舞台芸術の真価を衡いた実に巧い方法である。「源氏物語」であろうが「風と共に去りぬ」であろうが何でも

レビュー化してしまう。但し絶対的なルールがあつてそれらは何時も美しくひたすら美しく世の憂さを忘れさせるものでなければならぬ。

「すみれの花咲く頃」の原歌詞はリラの下で結ばれては冷めてゆく恋の果敢さを歌つたものであり、原曲の気分と言えばブルームードなのである。所が白井鐵造はすみれに置き換えて甘い恋の感傷に仕立て直した。つまりリラはほろ苦くすみれは甘酸っぱいのである。

「花詩集」や「華麗なる4拍子」で活躍したジャンソンレビューが生んだ花々が今芸能界の大御所になつている。それは花がバラに代つても同じ。「ベルバラ」で育つた鳳蘭はジエームス山から降りて来て開いた大きな紅薔薇である。八千草にしても大地真央にしても宝塚出身のスターのイメージはす

べて明るく大らかで美しい。

それは神戸の町のイメージに似て屈託が無く自由で束縛されない共通のリズム感に満ちている。

先月久しぶりに南仏を訪れたら農村の小母チャン達は50年前の「すみれ」や「コルシカのバラ」宝塚・心の故郷を憶えていた。

マルセイユの港はアラブ系の人が目立ち、ジャンソンに歌われた港町の感傷も無かったが、パリが未

来都市に生れかわろうとしているのに比べ南仏は一部のニュータウンを除いて悠々とガリアの昔を維持しているのが印象的であった。50年前のパリの姿を留めているのが世界でももう宝塚だけという稀少価値は何にも変え難い。若い作家の花を飾らないショーを観てもやはりそこにはレビュー感



マルセイユをバックにイフ島での菅沼さん

私は今振り返って80年の歩みを続け常に伝統の礎を踏みつづけて来たその確かな足音と巨大な構築美を思い、良い勉強をさせて貰ったことを心から感謝している。これからの人生は美しいだけではやっていけないにしても、宝塚で培われた美意識はもう私の中で甘いだけのものでは無くなっているのである。

## 「メダルは笑顔に輝いた」制作後記

田中 実

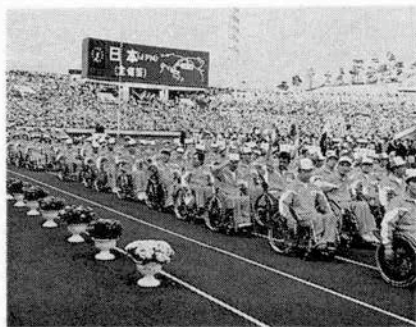
〈NHK神戸放送局  
放送部制作副部長〉



私は番組を制作した後、よく夢を見ます。力が入れば入るほど、悩めば悩むほど、夢の回数が多くなります。こんなコメントにすれば良かった、あの映像は落とさないほうが良かったなど、夢の中でイライラします。しかし「終わったんやから」と何回も夢の中で吠えているうちに夢を見なくなります。「メダルは笑顔に輝いた」を制作した後は、2週間位夢を見続けました。一番よく見た夢は、脳性マヒの人達が参加した100メートル競争でした。ランナーがスタートラインにつく。号砲一発、全員スタート。カメラはゴール地点、

真正面から選手の姿をとらえます。選手は一人、また一人とゴールインします。競技が終わったように思えたその時、突如競技場に拍手が響きわたるのです。カメラはこの時、まだ50メートルも走っていない、というよりは歩いていないランナーをとらえます。歯をくいしばり、一歩一歩、大地を踏みしめるように歩く姿、カメラは執拗にその姿を追い続けます。そしてゴール、拍手の渦。その後の取材で、彼は日々車椅子で生活をしていくことが分かりました。映像にはそんな彼の歩くことへの執念が溢れていました。しかし映像の長さは約5分。放送時間44分の番組では、あまりにも長く、カットせざるを得ませんでした。夢の中では、「なんとか上手く使えなかったのか」という文句が何回も出てきました。

もう一つよく見た夢は、選手宣誓をした目の不自由な水泳選手、蒲生明美さんのお父さんのインタビューです。まだ明美さんが幼い時、お母さんも一緒に3人で電車に乗りました。その時、明美さんが言います。「海がきれいね」お父さんはこの言葉を聞いて愕然とします。目の不自由な娘が、目の見えるような事を言う。親におもねるような事を言う。そんなことを言わざるを得ないように育てた



フェスビック大会の開会式

自分の責任を痛感します。一言一言かみしめるように話すお父さんの言葉には、明美さんを支える家族の絆、愛情がにじみでていました。しかしこのインタビューも時間の関係で落とさざるを得ませんでした。実に残念でした。

フェスビックが終わってまもなく1年がすぎようとしています。さすがに夢を見ることもなくなりました。しかしこのような文章を書く機会を得て、私の中にフェスビックの後何をしてきたのか、という問いが湧きおこってきました。「これは又夢を見るかもしれない」そんな気がする昨今です。

■メダルは笑顔に輝いた / 障害者スポーツフェスビック / 極東・南太平洋身体障害者スポーツ大会に参加した選手達を描いたドキュメンタリー番組  
平成元年10月10日午後10時44分  
全国放送、尚、同作品は第14回補文化賞（報道出版部門）を受賞。

## 遊び好きに なった大人

上田三洋子

（作家）



本を出版するのなら鈴鹿海軍工廠へ挺身隊員となって行っていたのを書きたい。なぜあそこであんなに不良品が続出していたのだろう。まともな十三耗旋回機銃が完成したのだろうか。

私は当時十七歳だったが、あれから四十数年経ち昭和が終りかけた頃に、揺さぶられるように取材をし始めた。青春の一時期の空白を埋めないことには、落しものをしたように落ち着かなかった。

何年もかかり十人ほどから情報を得、そして資料を集めた。それでもまだ一割ほど不明なところが残っている。残っているままに私はこの春にその作品を仕上げた。

しかし一冊の本にまとめるにはあと百枚ほど足らなかつた。もう一年待とうか。じっくり探せば不明は消えるだろう。そうは思ったが、私の筆力で武器の話を書いて、最後まで読んで貰えるかどうか。まず女は読まないだろうし、戦後生れには今さら古い武器の話を持ち出しても、興味はないだろう。それなら二百十枚でよいでは

ないか。  
丁度神戸文学賞を頂いたし、短編のそれらを加えて仕上げよう。自分をなだめながら夏に上梓した資料探し人探し、真相追究の執念。武器に弱い女が書いた作品。それらで労作と思われたのだろう。思いがけず沢山の新聞社が記事にしてくれた。



写真は2枚とも神戸文学賞の受賞パーティより（90.1.23オリエンタルホテル）

私の本を出すし決め原稿を埋めている時から、私の周りの遊び好きの連中が、出版パーティをしようとして決まてしまった。

セレモニは嫌いだけど、出版をだしにして喋り合い刺戟し合っただけで交流しよう。アトラクションの一つぐらいやるんではよ。やろうよ。処女出版なら当然よ。まだ本物の作家じゃないんだから。

賑やかにけたてられ、パーティをするために原稿を書いているのかと錯覚をするほどであった。

一方で文筆活動をしている仲間はそのことに冷ややかである。私はその中間の位置にいて両方の顔を見せていた。それは迎合ではなく、まぎれもなく私の内側にある二面性でもあった。

出版記念会はこうでなければならぬという規則はないだろう。私は私なりのやり方を希望し、二つの接点を探そう。

そして九月十六日五時からそれは始まる予定である。

「どんな服を着て行くの？ もう考えているんでしょうね」

「忙しからまだよ。その辺のものを着て行くわ」

「それじゃ正装して来るお客様に失礼よ。第一足を見せたらいいのよ。知っているの？」

私の多くの仲間を肴にして何カ月も前から楽しんでる。



# 琉球の紅型工房

びんがた

米花 稔

△神戸大学名誉教授・福山大学教授▽

七月末兵庫県公館の第一回アジア太平洋芸術フォーラムは、阪大教授谷村晃氏の基調講演のあと、淡路人形浄瑠璃から中国の琵琶、ヴェトナムの楽器など七か国の民族音楽の解説と実演があつて印象深かつた。このことを書くつもりはない。その夜これら各国の方々の歓迎パーティで、関西琉球舞踊研究所社中(尼崎)による四つ竹、カメヨリ天川の二曲が演ぜられた。これぞ日本、中国、東南アジアの接点で、谷村教授の指摘された自然と歴史、生活文化の人間の身体のおりなす産物で、琉球王朝時代からのものである。たまたま八月はじめある研究会で数年ぶりに沖縄を訪ねる筆者にとつてよい前奏曲となつた。そして戦前内地織物中心の旧丸紅の調査部に八年近くいた筆者は、無意識に衣裳の色彩模様に関心をそそられる。

五〇〇年の歴史をもつ琉球舞踊の

色彩豊かな紅型(びんがた)をこのテーマにしたい。華かな色彩しかも品のよさ淡さがあつて能に似た雰囲気を見せる不思議さが心をひく。

那覇に着いてすぐ県庁工業産業課を訪ね最近の紅型のあらましを聞いた。復帰後すぐ県無形文化財指定があり現在業者数四〇、従業員一五〇人、四億円近くの年産額でまず順調という。旧王城のあつた首里地区に工房がほとんど集つていることは前にも歩いて知っていたが、学会出席のあい間に、あらためて保存会長経営の城間紅型研究所、事務局長経営の名渡山工芸館などを訪ねた。激戦で、人、技術そして型紙をほとんど失つて、会長城間栄喜氏らにより内地の工芸研究家らの協力で型紙を収集再発足して今日に至つたという。工房の現場をみると、型彫から色差し、ぼかしなどに従事する男女のなかにかなり若手も交つて後継者も育ちつつある模様、しかし若手を前に辛抱がなくてとぼやく先輩従業員もいた。最近の地元舞踊人口の増加、増える観光客の土産物もさることながら、主力は東京、京都市場をへて高級着尺帯地などの需要がみられるようである。経営



城間紅型工房での作業風景

者も世代交替が始まりつつ、仕事の傍ら洋画個展を開く若手経営者もみられ、沖縄の産業と文化の特徴的接点のひとつかも知れない。それにしても薩摩藩と中国とのはざまに苦慮した王朝に支援をうけ、明治政府の援助が絶えて衰微のなかその復興のきざしが、また第二次大戦に頓挫するなどに遭遇しつつ今日全国でも極めて特徴的な琉球文化を形成している典型を紅型にみ、心うたれるのである。ここまで書いて、話は全く飛ぶが、神戸の染色工業を想起する。戦前無地染ながら新湊川あたりから東神戸住吉あたりまで輸出入絹織物の染色工場があつて、わが国でもひとつの拠点であつたことを記憶する人もすくないかも知れぬ。ついでに書き記したかったのである。今アパレル中心のファッション産業がこれにかわつているといえるかも知れない。



城間紅型研究所工房

ちよつと  
ジェラシーな服。



.....After Fashion

一クラス上の極上素材…ベルベット。  
ベルベットはパイル織物といわれ、生地表面を起毛している  
ので、毛が倒れやすく、倒れると生地の表面が光って見え  
ます。細心の注意を払って、毛並が倒れないようにお召し  
になることがポイント。たとえば、長時間座ったり、バックを  
腕や肩にかけたりすると、毛が戻らなくなります。長時間  
ドライブは禁物です。また 雨やシミで毛並がくるいがち  
です。シミがついた時など、こすったりしないで、そのまま早  
くニシジマにお出してください。

AFTER  
FASHION  
NISHIJIMA

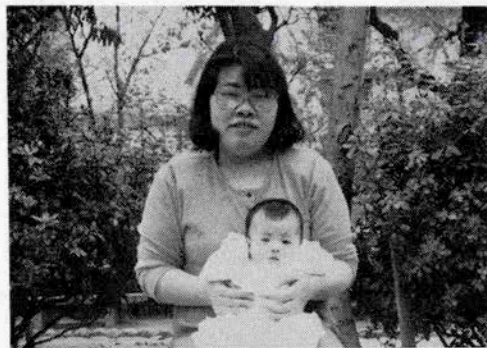
本社/神戸市灘区記田町1 078-851-2440 ■ 大阪支社/06-853-1332  
ローブ・ニシジマ山手/078-221-2440 ■ ローブ・ニシジマ三宮/078-332-2440  
リフォーム・フルフル/078-221-9110 ■ ローブ・ニシジマ宝塚/0797-72-0810  
ローブ・ニシジマつかしん/06-420-3754 ■ ローブ・ニシジマ芦屋/0797-38-3303



SAMOTO CLINIC

佐本  
産科

ママといっしょに



赤ちゃん: 本多絵里香 ちゃん (平成2年2月6日生)

ママ: 和代さん

長田区在住

「元気に育ちますように」

★佐本産科・婦人科★

佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15  
☎575-1024 (病室 ☎576-9639)

市バス上沢4停南スグ

●れんさいエッセイ●ペンのうちそと●29

# 一葉と鈴虫のオスたち

三枝和子(作家)

え・元永定正

先日、近代文学館主催の夏期文学講座で、樋口一葉の『日記』についての講演を頼まれた。いまごろ文学講座など聞きに来る人なぞ、余程の物好きなのだろうが、明治は人気、とかで東京有楽町の「よみうりホール」は満員の盛況であった。

一葉の『日記』で問題になるのは、例の半井桃水との恋愛問題である。そこでいつも言われることは、当時、二十歳やそらの娘が単身、三十何歳かの单身男を訪ねる大胆さについてである。

「男女七歳にして席を同じくせず」という道徳がまかり通っていた明治の時代にあって、何という…、ということになるのだろうか、私は、少し違う意見を持っている。まあ、恋愛云々は結果の話であるが、ともかく一葉が、最初に桃水を訪問したのは、原稿の売り込み依頼である。このとき一葉は二十歳の娘として決してあり得ないような立場にいた。家督を相続して戸主だったのである。

家父長制の厳しい当時、女性は父の娘か夫の妻

であった。一葉は百人に一人もないような偶然が重なって戸主になった。偶然というのは父親が破産して長兄が若くして家督を継いだが、この長兄が早々に病死、次兄は他家に養子に行ってしまったので止むなく父親を後見人にして娘の一葉が家督を継いだという事実である。さらにこの父親も間もなく病死という不幸の重なりがあったことである。

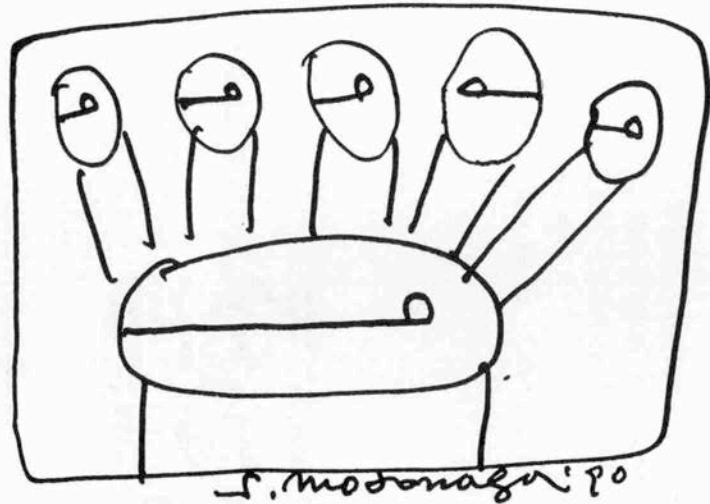
とにかく一文無しの戸主である一葉は、何とかして自分の才覚で母と妹を養わなければならぬ。その責任感と、戸主であるという当時の女性としては決して持つことのできない自負の念と社会的な地位が、一葉の行動を男並みにしたのだと思える。

なかでも私が興味深いのは、そろそろ文学的な名声が高まって来た一葉の許へ、馬場孤蝶、平田秃木、川上眉山などの文学青年たちが競って集まって来る模様である。彼らは一葉の許へ集まって

談論風発、時を忘れて語りあったらしい。

こうした事態は閨秀作家（結婚している女性作家を戦前までは、こんなふうな言葉で呼んでいた）である。何という言葉か（／＼）にあつては、決してあり得ない。一葉が一家の主人であるからこそ成り立ち得た文学サロンである。男たちはきくと、男同士数人集まって語り合うより以上の、素晴らしい議論を戦わしたにちがいない。

ここで私は、突然、鈴虫のオスの話を思い出した。この話は、私が男と女の関係の原点に立ち戻



って考察したいとき、よく引き合いに出す。私の知り合いの若い女性のお母さんで商売として鈴虫を育てている人がいる。商売であるから、鈴虫がよく鳴くように育てなければならぬ。ご存知のように鳴くのはオスであるが、このとき、育てかたとして、オス・メスの数の比例に気をつけなければならぬ。お母さんの長年の経験から、一匹のメスに対して五、六匹のオスというのが、もっともよく鳴くようになるそうである。一匹のメスに対して一、二匹のオスという関係では安心？してか、あまり鳴かない。また一匹のメスに二十四くらいのおスという関係になると、諦め？てしまふのか、これもほとんど鳴かないそうである。どういふわけで、馬場孤蝶、平田禿木、川上眉山の話をしながら、鈴虫のオスの話が突然ヒラメいたのか分からないが、とにかく口走ってしまった。こうなると、もう仕方がない。明治の気鋭の文学者たちも鈴虫のオス並みで、彼らは一葉というメス鈴虫がいたからこそ、精一杯競いあって、活発な議論を展開し、明治の文壇に貢献できたのだ、ということになってしまった。

けれども、実際の話、私は、人間の男たちがこしらえて来たさまざまな文化を、鈴虫の鳴き声と同じ視点で捉える立場が、いまは必要だと思っているので、この口走りは、案外常々考えている本音なのである。